東白川村 美しい村づくり 委員会

第68回

○場 所:五加交流サロンほほえみ

○時 期: 令和4年12月20日 19:00~21:00 ○参加者: 委員3名 一般10名 行政担当3名

【今年度委員会の目的】

①住民参加の場 ②交流・対話の場 ③学びの場 「持続可能な美しい村」を実現するため、「住民と行政で共に学ぶ」をテーマに、「学びの場」と「対話の場」を設け活動しています。

第1 村長あいさつ

一年を振り返りますと、今年も新型コロナ感染症に振り回されましたが、 小康状態にあった9月から11月にかけて、様々な行事やイベントが3年 ぶりに開催することができました。そして、今年最後の美しい村づくり委 員会を無事迎えることができたのは、みなさんのおかげです。ありがとう ございます。最近の元気な村トピックスとして、村内の小売店で村の白キ クラゲを使ったラーメンの新商品を見つけました。また、村内事業所が始 めた森林レンタルサービスが、数々の賞を受賞しております。

また、委員会でも名古屋大学大学院教授の高野先生から学びましたとおり、持続可能なむらづくりには、人口対策が根幹にあります。そこで、数年前から本村では、移住定住事業を重要施策として取り組んでいますので、本村の人口変動について調べました。人口変動には死亡数と出生数の差による自然増減と、流出数と流入数の差による社会増減があります。そのうちの社会増減について、移住定住事業が始まる前、2017年から2019年

の3年間の平均が1年間で24人減っていましたが、移住定住事業が始まった2019年から2022年までの3年間は、平均すると6人減少という結果からも、明らかに移住定住策の効果が出てきています。こういった東白川村の変化に対応するように、新たな地域のつながりづくりや、美しい村づくり委員会のこれからの活動について、前回からひきつづき考えていきましょう。

第2 第4回美しい村づくり講演会について

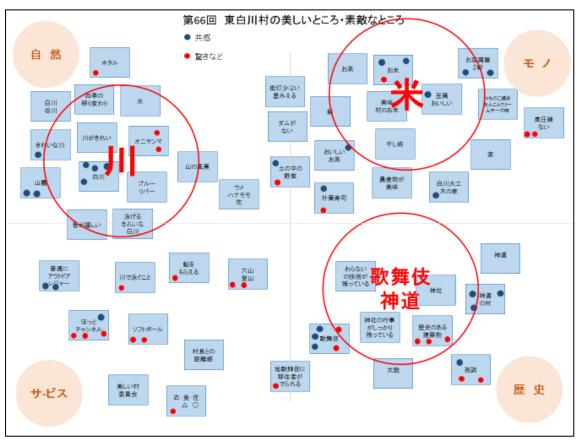
事務局から、講演テーマと講師の選考状況について説明を行いました。

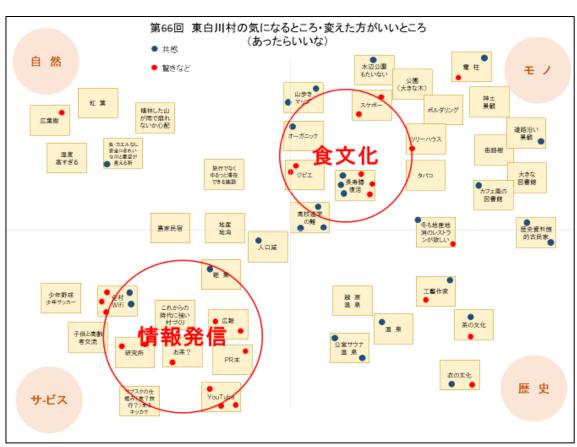
第3 話し合い会 ~これからの官民協働の美しい村づくり②~

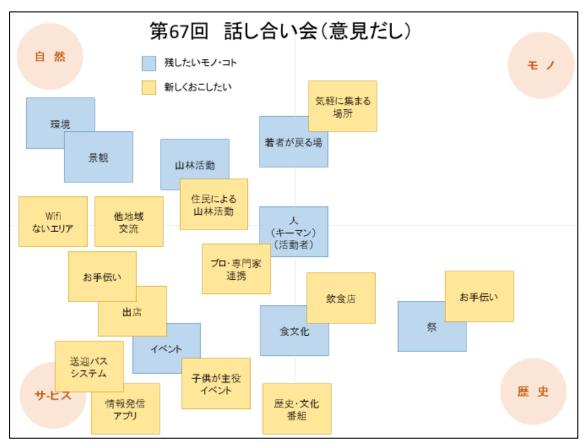
今回で美しい村づくり委員会は 68 回目を向かえ、6 年間、自主参加を大切に交流の場、対話の場、学びの場、やってみる場、にチャレンジしてきました。コロナ禍も含む 6 年間には、成長、停滞、縮小を経験し、次のフェーズへのつなぎとして、前年度から「学びの場」を 6 回開催してきました。新しい参加者の方とも楽しく変化することを目指し、これからの住民主体の地域づくりについて、官民協働の活動について話し合いを行いました。

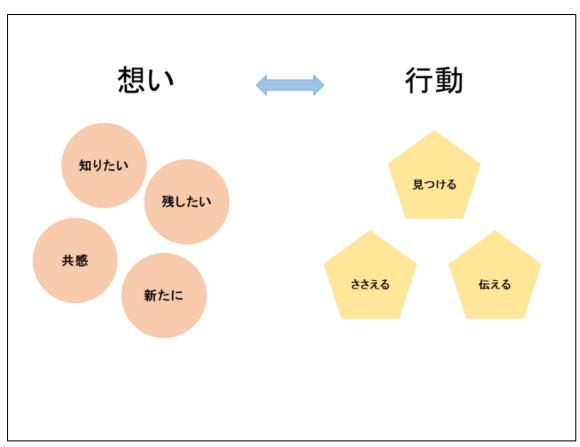
〈第66回と第67回のふりかえりと整理〉

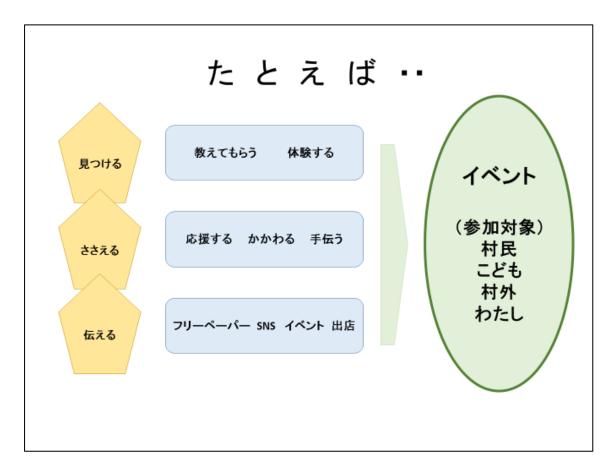
※次頁 使用したスライド

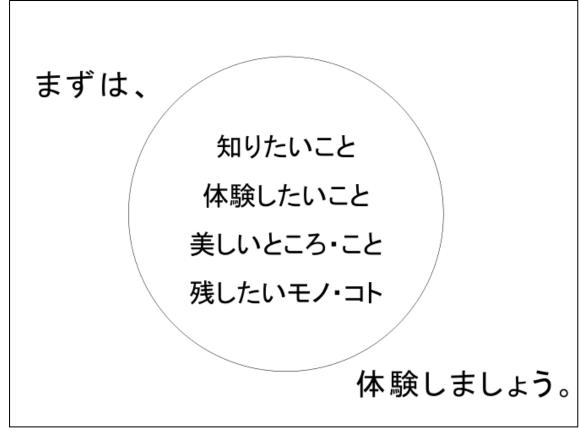












〈意見だし〉

東白川村の知りたいこと、体験したいことを付箋に書き出しました。次回は、出てきた意見を整理します。また、委員の方からクレイシ棚田の稲作について、紹介と呼びかけが行われました。また、参加者の方から動画撮影の協力や、撮影ネタ募集の呼びかけがありました。

〈付箋に投票(一人2票)〉

- · 獣肉解体(6票)
- ・林業。明るい森づくり(5票)
- ・田んぼや茶畑の石積み(3票)
- ・しめなわ作り(2票)
- ・門松作り(2票)
- ・農道具の使い方(1票)
- ・茶について(1票)
- ・史跡めぐり(1票)
- ・氷瀑づくり(1票)

第4 閉会

【次 回】 「話し合い会」 テーマ: これからの官民協働の美しい村づくり③ 日程: 未定







